

タンネウシ

2024年 **5** 月号

タンネウシはアイヌ語で「長い・木の・群生しているところ」。博物館付近の地名です

道立北方民族博物館移動展

文化財写真－北方民族の文化多様性を伝える&ギャラリートーク

北方地域で幅広い時代に使われた様々な文化財の高精細画像を展示する写真展です。写真と北方民族研究のそれぞれの専門家をお招きし、見どころをじっくりと語っていただきます。▶会期：5月19日(日)まで▶トーク：5月11日(土) 10:00～11:30▶場所：交流記念館ロビー▶講師：城野誠治(東京文化財研究所専門員)・笹倉いる美(北方民族博物館学芸主幹)▶料金：移動展・トークともに無料



重さ4kgの巨大な石器(両面調整石器)

お知らせ

展示解説アプリ「ポケット学芸員」を導入

アプリを起動して展示室にあるポケット学芸員のキャプション番号を選択すると、詳しい情報を読んだり、聴いたりすることができます。アプリのダウンロードの仕方や使い方は博物館の窓口までお声掛けください。ダウンロードは以下のQRコードからできます。



施設公開

農業資料等収蔵施設の公開

農業資料等収蔵施設(旧朱円小学校)では、主に明治の開拓期から昭和にかけての産業や生活に使われていた資料を見ることができます。今年もレコード鑑賞や手作りパン・お菓子・飲み物販売の「のんびりバザール」を開催します。バザールのメンバーによる「ガリ版を使った版画印刷体験」も行われます。▶期間：5月1日(水)～5日(日)▶時間：9:30～16:30▶版画印刷体験：4日(土)、5日(日)、10:00～▶場所：農業資料等収蔵施設(旧朱円小学校)



収蔵資料展示

昭和のレトロなマッチ箱

昭和の頃、いろいろなお店で配られていたマッチ箱は、小さな世界に当時の風景や世相が詰め込まれています。そんな斜里町のマッチ箱を展示します。▶会期：5月8日(水)～6月9日(日)▶会場：博物館本館受付前



令和6年度

新入職員紹介



考古学を担当します**勝田一気**(かつた かずき)と申します。大学卒業まで札幌で過ごしたので斜里町1年生です。考古学における貴重な遺跡や資料がある斜里をより多くの人に知っていただけるように精一杯頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

職員異動のお知らせ

令和4年より博物館で事務を担当していました塚田勝昭さんがB&G海洋センターに異動しました。博物館行事を助けていただきご苦労様でした。

学芸員のイチオシ

カナダバルサン



岩石薄片にカバーガラスを接着する際に使います。松ヤニを固めたもので、完全に水分がなくなるまで乾燥させると琥珀(こはく)になります。接着剤として使う場合は有機溶媒のキシレンで薄めて使い、加熱するとすぐに溶けて薄片が外れますので使いやすい接着剤です。(合地)

休館日

5月13日(月)、20日(月)、27日(月)
5月3、4、5、6日(祝)は開館します